

# 城原川だより 81号 82号城原川を考える会

【ダムに抛らない治水をめざすには】

2019 1. 25日(金)

次回発行予定 2019年 2月 22日 (金)

あけまして おめでとうございます

平成最後の新年となりました。



昨年是一年を表す漢字として「災」が選ばれました。2月福井、石川県での記録的な大雪では、国道で1500台余りの車が立ち往生し、その後も物流に大きな影響がでました。

6月は大阪北部地震がおり、多くの帰宅困難者がでました。また、ブロック塀の倒壊により登校中の女の子の命が奪われました。7月にはあの西日本豪雨災害がございました。神崎市に於いても初めての「大雨特別警報」が出しましたが、雨域がそれたことで大事にはいたりませんでした。しかしその間、東海や西日本で死者数200人を超える甚大な被害がでました。ダムからの大量放流に抛る死者が多く出たことにも様々な批判がで、裁判に訴える遺族の方々もいます。ダム安全神話の崩壊を見た豪雨でした。

台風も例年より多く29個発生し、日本にはそのうち15個が接近、5個が上陸しました。9月には近畿に21号、24号の【非常に強い】台風が上陸しました。1シーズンに「非常に強い」勢力の台風が2つ上陸したことは、観測史上初めてのことだそうです。車が横転したり、屋根が吹き飛んだり、高潮で関西国際空港が水没したりと大きな爪痕を残しました。

逆走台風12号にも（東から西へ向かう異例のコースをたどり）驚かされました。

また、猛暑も記録的なもので「災害級の猛暑」と呼ばれ、熱中症で倒れる人が続出、救急搬送された人は消防庁によると5万4220人に上りました。農作物も高騰し、飲料水も供給が間に合わない状況になりました。

9月には北海道胆振東部地震が発生。広範囲の土砂崩れで多くの犠牲者がでました。道内のほぼ全域で電気が止まる「ブラックアウト」も史上初めて起こりました。

これら自然の猛威とは別に、神崎市では2月に自衛隊機の墜落がございました。

昨年一年間の災害を見ると、観測史上初とか、甚大なとか、想像を絶するなどの言葉が並んでいます。このような異常気象は今後増えていくことは間違い

ありません。今年は昨年と同じまたは、それ以上の自然の猛威にさらされることを肝にめいじることが必要です。

城原川だより 81号は短かった為 82号との合併号になりました。

81号では6号野越について説明します。

城原川の野越の中では一番有名です。鶴西野越とも呼ばれています。受け堤も水害防備林もほとんど残っています。新潟大学名誉教授の大熊孝先生の論文などに何度も取り上げられ、全国的に知られることとなりました。軽トラックが止まっている場所が低くなっています。



この低くなった土手を乗り越した水は受け堤に沿って上流へと流れます。



下写真は 大熊孝新 新潟大名誉教授が公開シンポジウムで紹介された「鶴西野越」写真です

堤防を越流するところを限定して、  
すなわち、越流堤を設けて、破堤による氾濫を防ぐ。



城原川(筑後川右支川)の野越 成富兵庫茂安(1560~1634)の造成

各写真でわかるように、この野越には受け堤とそこに植えられた雑木による水害防備林が備わっていて、この南東に広がる鶴西の集落を守っています。またこの野越はすぐ下流にある堰と取水口も守る役目を持っています。またこの低くなった土手の長さは 38.5m あります。9 つある不連続堤の中で 1 号霞堤 50m について 2 番目の長さです。



左写真の向かって左が城原川、  
右の畑が溢れた水の水路です。  
上流にかかる橋の下はその溢れた水の流れを阻害しないよう工夫されています。上流に向かう為、溢れても水の勢いは穏やかなものとなり、上流の田を伝わって東へ流れていきます。しば

らく流れると馬場川にぶつかりますが、洪水の時は水位が上がっている馬場川には落ちず、馬場川を渡ってなお東へ流れ、田手川の西を南下します。JR の鉄道が東西に走っていますが、その北側の離れ遊水地を通り笹隈川となって最終的には千代田町で田手川に流れ込みます。この時田手川が満潮で排水がままならない時は馬場川の合流点付近から広い圃場に溢れだします。

第 118 定例会資料

城原川だより 80 号

水源連への活動報告書

新聞	佐賀新聞	11/11 日付け	ろんだん佐賀 佐賀の乱をどう呼ぶべきか
	日本経済新聞	11/13 日付け	防災重点ため池再選定
	佐賀新聞	11/13	城原川ダム「丁寧の説明」 県議会一般質問 具体的時期示さず
	佐賀新聞	11/15	評論 赤字路線廃止 山崎英之 (共同通信編集委員)

119 回定例会資料

岸原 信義 先生資料 「蛤水道についての検討」

佐賀新聞	12/14 日付け	私の主張 防災・減災を考える
	12/15	堤防強化の 116 河川公表
	12/16	インフラ緊急対策

**月曜勉強会（祝祭日を除く毎月曜日） 10：00～12：00 千代田町福祉センター**  
**なお今年は 12 月 17 日が勉強会最終日です。来年は 1 月 21 日から始めます。**

**皆様のご参加お待ちしております**

<b>第 120 回定例会</b>	<b>1 月 25 日 金</b>	<b>14：00～16：00</b>	<b>神埼中央公民館</b>
<b>第 121 回定例会</b>	<b>2 月 22 日 金</b>	<b>14：00～16：00</b>	<b>神埼中央公民館</b>
<b>第 122 回定例会</b>	<b>3 月（ ）</b>		

**参加費用（資料代） 200円**

代表	佐藤 悦子	〒842-0056	神崎市千代田町境原 282-12
			電話 0952-44-2925
副代表	平田憲一	〒842-0122	神崎市神埼町城原 1877-1
			電話 0952-52-2827

Mail : [teaho74@yahoo.co.jp](mailto:teaho74@yahoo.co.jp)

本年もよろしくお願ひいたします。

メールまたは、上記各連絡先へ、ご意見、疑問、質問、反論、どしどしお寄せ下さい。

文責 佐藤 悦子